２０２６年5月３日（日）

日本基督教団　大宮教会

大宮教会ビジョン
「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」
- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -
（マタイによる福音書28：19～20）

復活節第５主日

朝第１礼拝 9:00～10:00
朝第２礼拝 10:30～11:45

〈神の招き〉
前奏　天にましますわれらの父よ　ベーム
招きの詞　詩編５１編９～１４節
交読詩編　９５：１～１１
讃美歌　３
〈神の言葉〉
聖書　創世記２：１～３
（旧約　聖書協会共同訳　2 頁）
ヘブライ人への手紙４：１～１３
（新約　聖書協会共同訳 395 頁）
祈祷
讃美歌①　５３
奉唱②　I２４２
説教　「生きた神の言葉」　熊江秀一牧師
祈祷
黙想
讃美歌　４０８
聖餐
讃美歌　８１
〈神への応答〉
信仰告白　日本基督教団信仰告白
献金
主の祈り
宣教報告②
頌栄　２４
派遣と祝福
後奏　人よ、幸いなる生を願わば　ブクステフーデ
宣教報告①

夕礼拝 18:00～19:00

〈神の招き〉
前奏　キリストは死の絆につき給いしが　ツァハウ
招きの詞　詩編５１編９～１４節
交読詩編　９５：１～１１
讃美歌　１８
〈神の言葉〉
聖書　イザヤ書３５：５～１０
（旧約　聖書協会共同訳 1100 頁）
ルカによる福音書７：１８～２３
（新約　聖書協会共同訳 114 頁）
祈祷
讃美歌　１８３
説教　「つまずかない人は幸い」
佐藤潤伝道師
祈祷
黙想
讃美歌　２９０
聖餐
讃美歌　８１
〈神への応答〉
信仰告白　日本基督教団信仰告白
献金
主の祈り
宣教報告
頌栄　２６
派遣と祝福
後奏　われらに救いは来たりぬ　バッハ

今週の御言葉

神の言葉は生きていて、力があり、いかなる両刃の剣より鋭く、魂と霊、関節と骨髄とを切り離すまでに刺し通して、心の思いや考えを見分けることができます。
（ヘブライ人への手紙４章１２節）

次週の礼拝（５月１０日）母の日･定期教会総会

① ９：００、② １０：３０
説教「堂々と恵みの座に近づこう」
熊江秀一牧師
サムエル記上１：９～２０、
ヘブライ人へ手紙４：１４～１６
交読詩編１５：１～５
讃美歌１１、５７、２２６、２４

夕 １８：００
説教「知恵の子として歩む」
佐藤潤伝道師
ホセア書１４：９～１０、
ルカによる福音書７：２４～３５
交読詩編１５：１～５
讃美歌３３６、１６９(1､2､6)、４７０、２６

＊礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままどうぞ。＊◦は祈祷当番の方。＊①は朝第１礼拝、②は朝第２礼拝、夕は夕礼拝。

■**今週の祈祷課題**■　独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。
1．キリストの体なる教会が豊かに形成される為に　2．東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3．定期教会総会の為に　4．長老の働きの為に　5．子どもたちの為に
6．イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、世界の平和の為に　7．病気の兄姉の為に
＊**関東教区お祈りカレンダー**　アジア学院　東京聖書学校

◇先週の説教より「新しい人を着る」エフェソの信徒への手紙４：１７～２４、創世記１：２６～３１　佐藤潤伝道師

私たちは日常生活の中で、新年や進学、就職、結婚などを通して「新しい生活」を始める。しかし、どれほど新しい決意をしても、しばらくすると元の生活に戻ってしまうことがある。信仰生活においても、「本当に変えられているのだろうか」と感じることがある。

洗礼を受けたキリスト者は、もはや以前の異邦人のように歩んではならないと語られている。神を知らずに生きる人間は、神との関係を失っているために知性が暗くなり、自分の欲望に支配される。しかしキリスト者は、「そのようにキリストに学んだのではない」と言われる。

ここで重要なのは、「キリストを学ぶ」ということ。それは単に教えを学ぶことではなく、キリストと結ばれ、その交わりの中で新しく造り変えられていく、主イエスの十字架と復活に示された真理によって、心も生き方も変えられていくことである。

そのため、真のキリストの知識は、古い欲望に支配された生き方を脱ぎ捨て、「新しい人」として新しい命に生きる生活へと導く。

「新しい人を着る」とは、洗礼によって与えられた新しいアイデンティティに生きること。それは神が私たちを新しく創造してくださる恵みのみ業である。ここには、罪によって損なわれた「神のかたち」が、キリストにあって回復されるという希望がある。この新しい歩みを支えるのが、「心の霊において新たにされる」という聖霊の働きである。心が聖霊によって日々新しくされることで、私たちは欲望の支配から解放され、神を愛し、人を愛して生きる者へと変えられる。

この歩みは一人で行うものではない。教会というキリストの体の中で、兄弟姉妹と共に支え合い、愛の内に成長していく歩みである。私たちは「内なる人を強めてください」と祈りつつ、聖霊によって絶えず新しくされ、神のかたちを現す「新しい人」として歩み続けていくのである。